

1. 基本情報

渡航先国名・地域名 (☆)	イギリス
滞在都市 (☆)	ロンドン
留学先大学等名 (☆)	University of London SOAS
留学先での所属学部/研究科 (☆)	ELAS
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日 (☆)	2018年 9月 25日
渡航先からの出国日 (☆)	2019年 7月 20日
渡航先国での滞在期間 (☆)	10か月
同伴者の有無・続柄・年齢等	
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	

大阪大学経済学研究科/経済学部  
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	8割
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	エッセイ
履修科目の制限等（あれば）	
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	

語学に関するサポート(特別授業、チューター、英語ライティングに関するサポート等)	
授業内での留学生に対するサポート等	
その他	

## 2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	
図書館について	
保健センター等の有無	
クラブ・サークル等について	
留学生へのサポート	
オリエンテーション等学校主催の行事について	
現地の学生との交流について	大学内バー等
他の留学生との交流について	
学外での活動について(地域コミュニティ活動等)	
長期休暇中の過ごし方	
その他	

## 3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類(☆)	Tier4
ビザの取得手続きについて(申請方法、申請から取得までの所要期間等)(☆)	IELTSスコア取得後1~2週間かけて大阪のビザセンターから入手
利用航空会社	
入国の際の現地空港名	
空港から滞在先への移動について(交通手段や所要時間)	
入国審査について(提示した書類、審査官からの質問等)	
渡航後の手続き(在留届の提出、外国人登録等)	
その他	

4. 金銭に関する情報

奨学金の受給	有 無
奨学金名	
奨学金月額受給額（円）	
入国時に用意した金額	
クレジットカードについて（カード会社名・日常の利便性）	
留学中に利用した銀行名	
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	
デビットカードの使用について	
日本からの送金方法について	
1ヶ月の生活費（目安）	6~7万円
その他	

5. 暮らしに関する情報

5. 1 住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・アパート等）	二人部屋
家賃	約10万円
住居を探した方法・時期	
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等）	
その他	

5. 2 食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	ハンバーガー等
1ヶ月の食費	4万円
その他	

5. 3 その他日常生活に関する情報

電話について	
インターネットについて（Wi-Fi 環境等）	
コンピュータについて	
郵便について	
交通機関について	

治安について	
保険について	
医療機関・薬について	
気候と服装について	
普段の買い物について	
娯楽・行事について	パブ
日本語の使用について	
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	英語に耐性をつけておくこと
その他	

#### 6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について(セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等)	
留学中の就職活動について(海外からの情報収集、企業へのコンタクト、インターンシップ等)	

#### 7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	
留学中の学習方法、工夫したこと等	酒の勢いを借りて話す
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか(主観的な実感や具体的なスコア等)	英語で話すことや思考することへの違和感がなくなった

#### 8. その他

留学して得られたこと	適応力
留学中に困ったこと	様々な不安感
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	<a href="http://www.londoncheapeats.com/">http://www.londoncheapeats.com/</a>

#### 9. 留学体験談・エッセイ(様式任意)

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を1～2ページ（様式任意）で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室のHPやNewsletterに掲載させていただく可能性があります）。

元々留学に関してぼんやりとできたらいいなとしか思っておらず、ましてあのビートルズを生んだ土地英国に行けるなどはゆめゆめ思ってもいなかった。そんなある日、経済学部の交換留学募集の紙を見つけ、GPAも決して高くない僕でもロンドンに行ける可能性があることを知ったことからこの留学へのビジョンが見え始めた。しかし、その後荷物も詰めず、寮も決めていない、提出書類も推薦状も何もかもパニックで書けずと、問題が多く積み重なりすぎて、いよいよ出国という時まで全くもって実現するとは思ってもいなかった。そういった自分の気の弱さや計画性の無さを否応なく向き合わされたまま向かう単身での初海外留学は、自分にとって恐怖でしかなかった。

ロンドンに着き、いよいよ日本語を話す人間が全くいなくなったことは、自分が異国に来たという実感と同時に、この土地における異分子としての自分がたつぷりと感じられ、違う惑星で呆然と歩く宇宙飛行士になった気分だった。その後しばらくして授業が始まったが、この授業がロンドンで生活する上で大変役に立った。僕の専攻するELASというコースは日本人の割合が多い。ただし、日本語はあくまで非常時の言語であり、授業はもちろん、休み時間にも皆英語を使っており、少しずつこれまでに習った英語のパーツを繋げていくことが出来た。こちらの先生方も大変熱心に英語を話すことに対する違和感を払拭しようとしてくれて、自分の拙い英語を真剣に聞いてくれる姿がとても印象的だった。また、イギリス文化であるパブでの会話も自分の見識や語学力をつけるために効果的であり、地元の方とアルコールを交えて交流することは面白い。他にも様々な良いことや良くないことをしたり、遭遇したり、と生活をしていくと、自分自身がなんとか知らない物事に対応できるようになっていることに気づいた。それと同時に、決して完全に受け入れはしないものの、少しこの土地は自分の入る余地を増やしてくれていることも分かった。この時の感動は言葉に表すことが出来ないほどのものだった。

今回ロンドンという言語も文化も何もかも違う新しい地で生活してきたが、一つ得たことは、その土地がいかに大きなものか測る際、物理的なものさしよりも寧ろ精神的なもの、つまり心の広さが如何にその土地を包括しうるかが人間にとって重要だということだ。留学はそういった心の広さを認識し、押し広げることの出来る良い機会だと思う。是非あれこれと迷う前に、見る前に飛べの精神で世界に飛び込んでみてほしい。